

2022県民アンケート調査

～県民生活や県の取組みに関する意識調査～

～ 県民アンケート調査へのご協力のお願い ～

県民の皆様には、日頃から、県政の推進にご理解、ご協力をいただき心からお礼を申し上げます。

熊本県では、県政に県民の皆様のご意見を反映させていただくため、毎年、県民アンケート調査を実施しています。

この調査は、日常生活や社会・生活環境、県の取組み等について、日頃、皆様が感じていることや、行っていることをお尋ねし、県の施策に活かしていくものです。

調査をお願いする方の選定にあたりましては、県内にお住まいの18歳以上の方々の中から、3,500名を各市町村の住民基本台帳より無作為に選ばせていただきました。

よりよい熊本づくりに向け、皆様の率直なご意見をよろしくお願いいたします。



令和4年(2022年)6月

熊本県知事 蒲島 郁夫

調査票へのご記入にあたって

- アンケートへの回答は、封筒のあて名の方**ご本人**でお願いします。
(ご本人での記入が困難な場合は、代筆でもかまいません。)
- 回答は、黒の鉛筆又はボールペンなどで、**この調査票に直接記入**してください。
- 内容がわからない質問や、回答したくない質問には、回答されなくてもかまいません。
(回答していないところがあっても、そのまま返送してください。)
- 記入が終わったら、**同封の返信用封筒に入れ**、切手を貼らずに **令和4年(2022年)6月20日(月)までに** 郵便ポストに投函してください。
- 回答いただいた内容は、無記名のまま集計・分析するため、個人が特定されることはありません。

■ お問い合わせ先

熊本県企画振興部企画課 政策班 担当：馬場(ばば)、久米田(くめだ)

電話 096-333-2018 (直通)

ファックス 096-382-4066

電子メール kikaku@pref.kumamoto.lg.jp

幸せについて

問1 現在、あなたは幸せだと感じていますか。(1つだけ○)

1. 感じている 2. やや感じている 3. どちらでもない
4. どちらかと言えば感じていない 5. 感じていない

問2 次の4つの分類について、あなたの幸福で重視する順番をお答えください。
() の中に A から D のアルファベットを記入してください)

- A：夢を持っている (家族関係、仕事関係、教育環境)
B：誇りがある (自然資源、歴史・文化、地域社会とのつながり)
C：経済的な安定 (家計所得、消費活動、住まい)
D：将来に不安がない (心身の健康、食と生活環境の安全、防災・治安)

こちらの () に記入してください

1 番重視 ()、2 番目に重視 ()、
3 番目に重視 ()、4 番目に重視 ()

(記入例)

・「A」を1番重視、2番目は「C」、3番目は「B」、4番目は「D」の場合
⇒1番重視(A)、2番目に重視(C)、3番目に重視(B)、4番目に重視(D)

・「A、B、C」を1番重視、2番目は「D」、3番目、4番目は「なし」の場合
⇒1番重視(A、B、C)、2番目に重視(D)、3番目に重視()、
4番目に重視()

・重視する順位が同じ場合
⇒1番重視(A、B、C、D)、2番目に重視()、3番目に重視()、
4番目に重視()

問3 現在、あなたは次の4つの分類について、満足していますか。
(それぞれ分類について、1つだけ○)

A：夢を持っている（家族関係、仕事関係、教育環境）

1. 満足している 2. やや満足している 3. どちらでもない
4. どちらかと言えば満足していない 5. 満足していない

B：誇りがある（自然資源、歴史・文化、地域社会とのつながり）

1. 満足している 2. やや満足している 3. どちらでもない
4. どちらかと言えば満足していない 5. 満足していない

C：経済的な安定（家計所得、消費活動、住まい）

1. 満足している 2. やや満足している 3. どちらでもない
4. どちらかと言えば満足していない 5. 満足していない

D：将来に不安がない（心身の健康、食と生活環境の安全、防災・治安）

1. 満足している 2. やや満足している 3. どちらでもない
4. どちらかと言えば満足していない 5. 満足していない

新型コロナウイルスについて

問4 あなたが、新型コロナウイルス感染症に関する情報について知りたいことは何ですか。(あてはまるもの全てに○)

1. 熊本県リスクレベル情報
2. 新型コロナウイルス感染症の感染者数
3. 飲食店での感染防止対策
4. イベント開催制限に関する情報
5. 対策・要請内容
6. 新型コロナウイルス感染症に伴う支援制度
7. その他 ()

問5 あなたは、県内における新型コロナウイルス感染症の発生動向についてどのようにして把握していますか。(あてはまるもの全てに○)

1. 熊本県・熊本市のホームページやSNS
2. テレビ
3. ラジオ
4. 新聞
5. インターネット (1を除く)
6. その他 ()

問6 あなたは、コロナ禍の状況の中、日常生活において不安に感じることは何ですか。
(あてはまるもの全てに○ ※10以外は複数選択可)

1. 健康状態の悪化 (身体・精神的な不安)
2. 収入の減少
3. 支出の増加
4. 働き方の変化
5. 外出時における制限
6. 人との交流機会の減少
7. 学習機会の減少や学力の低下
8. 文化芸術に触れる機会の減少
9. 運動やスポーツの機会の減少
10. 特にない

防災・治安について

問7 あなたは、ご自身やご家族を災害から守るために、何をしていますか。
(あてはまるもの全てに○ ※14以外は複数選択可)

1. 家具等の固定
2. 水・食料等の備蓄
3. 非常用持出品の準備
4. 風呂に水をためる
5. 自治体の防災メールの登録
6. 県・市町村等のホームページ等での気象情報などの収集
7. 地域の危険箇所やハザードマップ（災害等発生時の危険箇所）の確認
8. 指定避難場所、経路の確認
9. 家族との連絡方法の確認
10. マイタイムライン（防災行動計画）の作成
11. 自主防災組織などが行う訓練への参加
12. 早めの自主避難（予防的避難※）
13. その他（)
14. 何もしていない

※予防的避難とは、天候の悪化等が予想される場合に、夜になる前の明るい時間帯や風雨が強くなる前など、避難が難しくなる前に、早めに避難すること。

問8 防災に関する知識で、今後、県が普及・啓発に力を入れる必要があると思うものはどれですか。(あてはまるもの全てに○ ※12以外は複数選択可)

1. 避難所や避難経路に関する情報
2. 個人でできる災害に対する備え（自助）
3. 近隣の安否確認や、避難誘導など地域でできる取組み（共助）
4. 災害時の情報収集方法
5. 災害時の注意点
6. 避難生活で気を付けること
7. 災害ボランティアの支援要請や参加方法
8. ハザードマップの情報
9. 地震に関する情報（断層の場所や発生確率等）
10. 防災士（防災に関する知識を有し、災害時等に活動する民間資格者）の資格取得に関する情報
11. その他（)
12. 特にない

問 9 あなたが、風水害の際に、避難を検討するきっかけは何ですか。
(あてはまるもの全てに○)

1. 気象庁等から特別警報、土砂災害警戒情報、氾濫危険水位到達が発表されたとき
2. 市町村がレベル5（緊急安全確保）を発表
3. 市町村がレベル4（避難指示）を発表
4. 市町村がレベル3（高齢者等避難）を発表
5. テレビ、ラジオのキャスター等による避難の呼びかけ
6. 近所の人からの避難の呼びかけ
7. 消防団、自主防災組織の避難の呼びかけ
8. 親族、家族等の近い人からの避難の呼びかけ
9. SNS等で発信された避難の呼びかけ

問 10 あなたは、令和3年（2021年）～令和4年（2022年）に予防的避難を行いましたか。行わなかった方はなぜですか。（1つだけ○）

1. 行った
2. 「予防的避難」という避難方法があることを知らなかった
3. ハザードマップ等を確認して、安全な場所にいるため予防的避難を行わなかった
4. 今までの経験上、避難しなくても大丈夫だと思ったため、予防的避難を行わなかった
5. 避難先が分からなかった（見つからなかった）ため予防的避難を行わなかった

問 11 大雨、台風、高潮など、近いうちに災害が発生する可能性がある場合に、どのような情報・告知・ツールがあれば、あなたは「早めの避難」行動を実践しようと思いますか。（重要と考えるものから、3つ以内で○）

1. 携帯電話等に送られる告知メール（エリアメールなど）
2. テレビ・ラジオによる災害リスクを伝える情報
3. 市町村が行う防災行政無線による災害リスクを伝える情報
4. 近所の人からの避難の声掛け
5. お住まいの地区の避難計画（地区防災計画）
6. 家庭ごとの避難計画（マイタイムライン）
7. 気象台や国がホームページ等で公表する情報
8. 県がホームページ「防災情報くまもと」で発信する情報
9. 住民が投稿したSNSの情報
10. 学校の先生や職場の上司からの注意喚起の情報
11. 特に必要ない

問 1 2 あなたは、ご自宅の地震に対する安全性の確保（耐震化）を行っていますか。
（1つだけ○）

○ご自宅が自己または家族所有の方

1. 建築もしくは購入当初から耐震性がある
2. 耐震化工事を実施済み（工事中又は工事予定を含む）
3. 耐震診断を行って、必要ならば、耐震化工事を行いたい

問 1 4 にお進
みください

4. 耐震診断を行うが、耐震工事を実施するかどうか分からない
5. 耐震性はない、もしくはあるか分からないが、耐震診断、工事とも現在のところ行う予定はない

問 1 3 にお進
みください

○ご自宅が自己または家族所有ではない方

そのまま
問 1 4 にお進
みください

※この質問は、問 1 2 で、選択肢 4・5 のいずれかを選択された方のみにお尋ねします。

問 1 3 ご自宅の耐震化工事を行うかどうか分からない、もしくは行わない理由を教えてください。（あてはまるもの全てに○）

1. 耐震化のために何から始めたらよいか分からないため
2. どのような業者に耐震診断、耐震化工事を頼んでよいか分からないため
3. 建替え予定のため
4. 耐震化工事を行う費用がないため
5. 自宅を長く活用する予定がないため
6. 現在耐震化について検討していないため
7. その他（)

問 1 4 あなたは、治安をよくするために、どのような取組みが必要だと思えますか。
（あてはまるもの全てに○）

1. 防犯カメラや防犯灯の設置など犯罪が起きにくい環境の整備
2. 防犯ボランティアなどによる自主防犯活動の強化
3. 個人レベルでの防犯対策の実施
4. 規範意識を高める教育の実施
5. 犯罪の厳罰化
6. 就労支援など犯罪者への再犯防止対策の充実
7. ご近所など地域社会における絆づくりの強化
8. ネット上の違法・有害情報の削除やサイバーパトロール
9. その他（)

医療等について

問15 あなたは、お住まいの地域における救急医療体制についてどのように思いますか。
(1つだけ○)

1. 整っていると思う
2. どちらかといえば、整っていると思う
3. どちらかといえば、整っていないと思う
4. 整っていないと思う
5. わからない

※整っていると思うか、思わないかについては、以下の視点等からご回答ください。

- ・ 休日や夜間に対応している医療機関が多いと感じるか、少ないと感じるか。
- ・ 重篤な救急患者を受け入れる病院が多いと感じるか、少ないと感じるか。
- ・ 最寄りの医療機関まで遠いと感じるか、近いと感じるか。

問16 病院や診療所（医院・クリニック）でもらった処方せんを持って行く特定の薬局
（かかりつけ薬剤師・薬局）を決めていますか。（1つだけ○）

1. 決めている
2. 決めていない

問17 臓器提供意思表示カード等（被保険者証や運転免許証、マイナンバーカードに意
思表示欄があるものを含みます。）について、あてはまるものをお選びください。
(1つだけ○)

1. カード等を持っており、自分の意志を記入している
2. カード等を持っているが、自分の意志を記入していない
3. カード等のことは知っているが、カードは持っていない
4. カード等のことは知らない

障がい者施策について

問18 熊本県では、「障害のある人もない人も共に生きる熊本づくり条例」により、障がいの有無にかかわらず、安心して暮らすことができる共生社会の実現を目指しています。あなたは、この条例を知っていますか。(1つだけ○)

1. 知っている
2. 名称は知っている、もしくは聞いたことがある
3. 全く知らない

問19 熊本県では、手話が言語であることの普及及び障がいの特性に応じた意思疎通手段の利用促進を図り、全ての県民が障害の有無にかかわらず安心して暮らすことのできる共生社会を実現するため、令和4年4月1日に「熊本県手話言語の普及及び障害の特性に応じた意思疎通手段の利用の促進に関する条例」を施行しました。あなたは、この条例を知っていますか。(1つだけ○)

1. 知っている
2. 名称は知っている、もしくは聞いたことがある
3. 全く知らない

高齢者の福祉・介護について

問20 あなたは、いつまでも生きがいを持ち、住み慣れた地域で安心して生活できる社会を実現するために、何が足りないと思いますか。(2つ以内で○)

1. 高齢者の就労支援
2. 健康づくりや介護予防
3. 見守りや家事などの日常的な生活支援
4. 認知症になっても安心して暮らせるための施策
5. 高齢者の権利擁護（成年後見制度の利用促進、虐待防止等）
6. 在宅で医療や介護サービスを受けるための体制づくり
7. 介護保険施設等の整備
8. 高齢者向け住まいの供給促進
9. 介護に従事する人の確保や介護サービスの質の確保・向上
10. その他（)

健康について

問21 あなたは、令和3年度（2021年度）に1日に30分以上運動やスポーツを実施した日数を全部あわせると、何日くらいになりますか。（1つだけ○）

1. 週に5日以上（年251日以上）
2. 週に3日以上（年151日～250日）
3. 週に2日以上（年101日～150日）
4. 週に1日以上（年51日～100日）
5. 月に1日～3日（年12日～50日）
6. 3か月に1日～2日（年4日～11日）
7. 年に1日～3日
8. 令和3年度（2021年度）に運動やスポーツはしなかった
9. わからない

※ウォーキング、散歩、自転車、キャンプ、登山、フィッシング、ひと駅歩き、階段昇降等、目的をもって楽しく体を動かした場合（レジャーや通勤・通学の場合も含む）も運動やスポーツを行っていると考えてください。

問22 あなたは、食育の考え方や内容を理解し、日常生活の中に活かしていますか。（1つだけ○）

※食育とは、食に関する知識や技術を身につけること。

1. 内容を理解し、十分活かしている
2. 内容を理解し、ある程度活かしている
3. 内容は理解しているが、あまり活かしていない
4. 内容は理解しているが、ほとんど活かしていない
5. 言葉は聞いたことはあるが、内容は知らない
6. 全く知らない

人権・男女共同参画について

問23 あなたは、ハンセン病が感染しにくい病気だということを知っていますか。
(1つだけ○)

1. 知っている
2. 知らない

問24 あなたは、ご自身のお気持ちの中に、ハンセン病の患者さんや治癒された方に対する偏見や差別意識があると感じますか。(1つだけ○)

1. ある
2. 少しある
3. ない
4. わからない

問25 あなたは、「男は仕事、女は家庭」などと、性別によって職場や家庭、地域での役割を固定しようとする考え方についてどう思いますか。(1つだけ○)

1. 同感する
2. どちらかといえば、同感する
3. どちらかといえば、同感しない
4. 同感しない
5. わからない

問26 あなたは、人権意識を高めるためには、どのような広報啓発活動が効果的だと思いますか。(あてはまるもの全てに○ ※12以外は複数選択可)

1. テレビ、ラジオ
2. 講演会、シンポジウム、研修会等
3. 新聞、雑誌
4. 広報誌、パンフレット、ポスター
5. 映画、ビデオ
6. インターネット、Eメール(メールマガジン等)
7. 自由な意見交換ができる会合や交流会
8. ワークショップ(参加者による少人数の討論会や参加体験型の研修プログラム等)
9. 展示会(資料、写真等)
10. プロスポーツ組織と連携した啓発活動
11. その他()
12. わからない

地下水について

問27 あなたは、水田でのお米づくりや化学肥料を減らすことで、地下水や土を育てていることを知っていますか。(1つだけ○)

1. 知っている
2. 少し知っている
3. 知らない

問28 あなたは、「くまもとグリーン農業」が、化学肥料や化学農薬を減らした環境にやさしい農業の取組みであることを知っていますか。(1つだけ○)

1. 知っている
2. 少し知っている
3. 知らない

食の安全安心・農林水産物等について

問29 あなたは、現在、販売されている農林水産物（生鮮食品）や加工食品に不安を感じますか。（1つだけ○）

1. 全く不安はない
2. あまり不安はない
3. ある程度不安がある
4. とても不安がある
5. わからない

※この質問は、問29で、選択肢3・4のいずれかを選択された方のみにお尋ねします。

問30 ある程度不安がある、もしくはとても不安があることは何ですか。（あてはまるもの全てに○）

1. 輸入食品
2. 食品添加物
3. 残留農薬
4. 食中毒
5. 環境汚染物質（カドミウム、ダイオキシン等）
6. 遺伝子組換え食品
7. 偽装表示
8. 放射性物質

問31 あなたは、地域で生産されたものを地域で消費する「地産地消（ちさんちしょう）」に関心がありますか。また、県内でできた農林水産物（または加工品）を購入（またはレストランなどで注文）していますか。（1つだけ○）

1. 地産地消に関心があり、なるべく県産農林水産物を購入している
2. 地産地消に関心はあるが、県産農林水産物にはこだわらない
3. 特に関心がない

循環型社会について

問32 循環型社会を形成していくために、あなたは、特に意識して取り組んでいるものはありますか。(あてはまるもの全てに○)

1. 職場や学校でのマイボトル・マイカップの利用
2. マイフォーク・マイスプーン・マイストローの利用
3. マイバッグを利用することでレジ袋の削減
4. 詰替え用製品の購入
5. フリーマーケットやリサイクルショップの活用
6. リサイクルを意識した家庭でのごみの分別の徹底
7. プラスチックごみの分別排出の徹底
8. その他 ()

問33 国連で一人あたりの食品廃棄物を半減させるという目標が設定されたなか、日本では食品ロス(まだ食べられるのに捨てられている食品)が年間推計約600万トン発生しています。

あなたがより効果的と考える対策はどれですか。(あてはまるもの全てに○)

(企業における取組み)

1. 賞味期限間近など販売できない食品をフードバンク(※)へ提供
2. 消費期限及び賞味期限が間近な食品の値下げ販売
3. 食品廃棄物のリサイクル(堆肥化、飼料化など)
4. 正確に食品の需要量を予測する取組み
5. 小盛り、おかわり自由など提供量の調整
6. その他 ()

(家庭等における取組み)

1. 「買い物前の冷蔵庫確認」など買いすぎを控える
2. 余っている食品をフードバンクなどに提供する
3. 生ごみを水切りや生ごみ処理機で減量する
4. 保育所、小学校、中学校での環境教育
5. その他 ()

※フードバンクとは、食べられる様々な食品を企業などから集め、地域の福祉団体や個人に届ける活動を行う組織のこと。

食品ロス削減問題について

問34 あなたは、食品ロス削減を意識して行っていますか。(1つだけ○)

1. 行っている
2. 何も行っていない

※この質問は、問34で選択肢1を選択された方のみにお尋ねします。

問35 どのようなことを行っていますか。(あてはまるもの全てに○)

1. お店では使い切れる分だけ食材を購入することを心掛けている
2. 購入してすぐ食べる商品を、商品棚の手前から積極的に選んで購入している
3. 家で調理をする際、一度に食べきれぬ量だけ作っている
4. 家で調理をする際、食材の食べられる部分は使い切るように心掛けている
5. 冷蔵庫や保管庫での食材の保存方法、配置方法などを工夫している
6. 飲食店では、食べきれぬ範囲で注文している
7. 飲食店で食べ残しが出る場合には、ドギーバッグ(※1)等を利用し、持ち帰っている。
8. 家庭で余っている食べ物を持ち寄り、フードドライブ(※2)活動に寄付したことがある
9. その他()

※1 ドギーバッグとは、客が食べ残した料理をつめて客が持ち帰るための袋や容器のこと。

※2 フードドライブとは、家庭で余っている食べ物を学校や職場などに持ち寄り、それらをまとめて必要とする支援団体に寄付する活動のこと。

※この質問は、問34で選択肢2を選択された方のみにお尋ねします。

問36 何も行っていない理由はなんですか。(あてはまるもの全てに○)

1. 食品ロスの問題に関心がない
2. お店で商品を購入する際、食品ロス削減のためにはどのような購入の仕方をすればよいか分からない
3. 家で調理を行う際、食材をどのように調理すれば食品ロスを削減できるか分からない
4. 家で食品を管理する際、どのようにすれば食品ロスを削減できるか分からない
5. 飲食店を利用する際、どのような頼み方をすれば食品ロスを削減できるか分からない
6. その他 ()

教育について

問37 あなたは、熊本の将来を担うグローバルな人材(国際化社会で活躍できる人材)を育成するために、何が重要だと思いますか。(3つ以内で○)

1. 英語教育の充実
2. 主体性・積極性を促す教育の充実
3. 郷土を誇りに思い、郷土の文化や歴史を深く知る教育の充実
4. 異文化理解を深める教育の充実
5. 海外留学・進学支援制度等の充実
6. 海外からの留学生の積極的な受入れ
7. 海外の学校との交流活動の促進
8. グローバルな視野を拓げるための講演会やセミナーの開催
9. その他 ()

歴史・文化について

問38 現在、地域の伝統芸能・伝統文化の継承が危ぶまれていますが、伝統芸能が継承されていくためには、どのような取組みが必要だと思えますか。

(3つまで選択可)

1. イベントでの発表の場の提供
2. 小中学校での体験学習
3. インターネットSNS等による情報発信
4. 道具、衣装等の整備のための助成
5. 記録映像の作成
6. アドバイザーの派遣
7. その他 ()

問39 あなたは、この一年間に美術館、博物館等の文化芸術施設に行ったことがありますか。(1つだけ○)

1. 県内施設に行った
2. 県外施設に行った
3. 県内・県外施設の両方に行った
4. 行かなかった

※この質問は、問39で選択肢2・4を選択された方のみにお尋ねします。

問40 美術館、博物館等の文化芸術施設に行かなかった理由、または県内施設に行かなかった理由は何ですか。(あてはまるもの全てに○)

1. アクセスが悪い(公共交通機関が不便等)
2. 以前行ったことがあるが、展示内容があまり面白くなかった
3. 以前行ったことがあるため、もう行かなくてよい
4. 開館日(時間)が自分の都合に合わない
5. 観覧料金が安い
6. 広告等を見たが展示内容に魅力を感じなかった
7. 他の余暇の過ごし方を優先する
8. 新型コロナウイルス感染症等の感染予防のため
9. その他 ()

公共交通について

問46 あなたは、公共交通機関をどのくらいの頻度で利用しますか。

(1つだけ○)

※「公共交通機関」には、バス、鉄道、路面電車、フェリー、タクシー等のほか、市町村が運行するコミュニティバスや乗合タクシー等を含みます。

1. 週に5日以上
2. 週に3～4日程度
3. 週に1～2日程度
4. 月に数日程度
5. ほとんど利用しない(年に数日程度以下)

問47 あなたは、お住まいの地域の公共交通機関のサービス内容について、どう思いますか。(1つだけ○)

※「サービス内容」とは、路線、ダイヤ、便数、運賃、及びこれらの情報提供等を指します。

※地域で複数の公共交通機関が運行している場合、その総合的な評価についてご回答ください。

※問46で「5. ほとんど利用しない」と回答された場合も、いずれかの選択肢にてご回答ください。

1. 満足(とても利用しやすい)
2. やや満足(利用しやすい)
3. どちらでもない
4. やや不満足(利用しにくい)
5. 不満(とても利用しにくい)

問48 サービス内容が向上してほしいと思う公共交通機関はどれですか。

(あてはまるもの全てに○)

※「サービス内容」とは、路線、ダイヤ、便数、運賃、及びこれらの情報提供等を指します。

1. 路線バス
2. 鉄道
3. 路面電車
4. フェリー
5. タクシー
6. 市町村が運行するコミュニティバス、乗合タクシー等
7. その他()

里親制度について

問49 あなたが、里親制度について知っていることは何ですか。
(あてはまるもの全てに○ ※10以外は複数選択可)

1. 里親になるための特別な資格は不要なこと
2. 里親になるために必要な研修があること
3. 未婚や子育ての経験が無くても里親になることができること
4. 実子がいても里親になることができること
5. 共働きの家庭でも里親になることができること
6. 短期間での受け入れもできること
7. 必ずしも、「里親＝養子縁組」ではないこと
8. 子どもを育てるために必要な生活費、教育費、医療費などが支給されること
9. 里親を応援するための支援機関があること
10. 里親制度について、内容はほとんど知らない

多文化共生について

問50 熊本県で暮らす外国人の方は年々増えています。外国人の方と、ともに地域で生活する社会について、どう思いますか。(1つだけ○)

1. 望ましい
2. やや望ましい
3. どちらでもよい
4. あまり望ましくない
5. 望ましくない

※この質問は、問50で選択肢4又は5を選択された方のみにお尋ねします。

問51 その理由はなんですか。(あてはまるもの全てに○)

1. 事件・犯罪が増えたり、治安が悪化するおそれがあるため
2. 言語・文化・習慣の違いから、トラブルが起こるおそれがあるため
3. 日本人の雇用がおびやかされるおそれがあるため
4. 外国人の方に良いイメージを持っていないため
5. その他 ()

基本項目

あなたご自身のことについてお尋ねします。

1 あなたの住まいはどちらですか。あてはまる市町村の番号に○をつけてください。

熊本市	1. 熊本市中央区 2. 熊本市東区 3. 熊本市西区 4. 熊本市南区 5. 熊本市北区	菊池	16. 菊池市 17. 合志市 18. 大津町 19. 菊陽町	八代 芦北	32. 八代市 33. 氷川町 34. 水俣市 35. 芦北町 36. 津奈木町
宇城	6. 宇土市 7. 宇城市 8. 美里町	阿蘇	20. 阿蘇市 21. 南小国町 22. 小国町 23. 産山村 24. 高森町 25. 南阿蘇村 26. 西原村	球磨	37. 人吉市 38. 錦町 39. あさぎり町 40. 多良木町 41. 湯前町 42. 水上村 43. 相良村 44. 五木村 45. 山江村 46. 球磨村
玉名	9. 荒尾市 10. 玉名市 11. 玉東町 12. 和水町 13. 南関町 14. 長洲町				上益城
鹿本	15. 山鹿市			天草	

2 あなたは、熊本県に通算何年くらいお住まいですか。次のうちあてはまるものに○をつけてください。

- | | | |
|-------------|--------------|--------------|
| 1. 1年未満 | 4. 5年～10年未満 | 7. 20年～30年未満 |
| 2. 1年～ 3年未満 | 5. 10年～15年未満 | 8. 30年以上 |
| 3. 3年～ 5年未満 | 6. 15年～20年未満 | |

3 あなたの性別は次のどれですか。

- | | | |
|-------|-------|--------|
| 1. 男性 | 2. 女性 | 3. その他 |
|-------|-------|--------|

4 あなたの年齢は次のどれですか。

- | | | |
|-----------|-----------|----------|
| 1. 18～19歳 | 4. 40～49歳 | 7. 70歳以上 |
| 2. 20～29歳 | 5. 50～59歳 | |
| 3. 30～39歳 | 6. 60～69歳 | |

ご協力ありがとうございました